

四国地区主要 8 行の預金・貸出金等実態調査 (2023 年 9 月中間期)**貸出金残高、設備投資等の需要増で 7,352 億円増加****～ 銀行別、「香川銀行」が預金・貸出金ともに増加率トップ ～****はじめに**

銀行業界は、長期化している低金利の状況下、これまでの預貸中心のビジネスモデルから新たなビジネスモデルの構築など収益源の多角化を急いでいる。また、ネット銀行の台頭や、地方銀行同士の再編による地盤固めの強化など業界としての動きも激しい。

そこで、帝国データバンク高松支店は、四国 4 県に本店を置く地銀 8 行（愛媛、香川、高知、徳島大正、阿波、伊予、四国、百十四）の 2023 年 9 月末および 2022 年 9 月末の預金、貸出金の残高、2023 年 9 月中間期（2023 年 4 月～2023 年 9 月）および 2022 年 9 月中間期（2022 年 4 月～2022 年 9 月）の預金利息（支出）、貸出金利息（収入）の推移について調査・分析した。

※ 各数値は各行の決算短信（単体ベース）に記載されている数値（単位：百万円）を採用

調査結果**□ 預金残高、7 行が増加、阿波銀行のみ微減、増加率トップは香川銀行**

四国 4 県に本店を置く主要 8 行合計の 2023 年 9 月末の預金残高は 24 兆 5,977 億 1,600 万円で、2022 年 9 月末より 4,111 億 6,000 万円増加（1.7%増）。全国（主要 106 行、2.9%増）との比較では 1.2 ポイント下回る。増加率トップは香川銀行（3.9%増）。

□ 貸出金残高、8 行すべてで増加、増加率トップは香川銀行

主要 8 行の貸出金残高は 19 兆 3,787 億 2,700 万円となり、2022 年 9 月末比で 7,352 億 6,900 万円増加（3.9%増）。全国（主要 106 行、3.1%増）との比較では 0.8 ポイント上回る。増加率トップは香川銀行（6.4%増）。

□ 利ざや、8 行すべてで増加、増加率トップは伊予銀行

主要 8 行の収支「貸出金利息（収入）－預金利息（支出）の差額＝本業利ざや」は 1,184 億 7,700 万円となり、2022 年 9 月中間期比で 187 億 8,500 万円増加（18.8%増）。全国（主要 104 行、16.5%増）との比較では 2.3 ポイント上回る。増加率トップは伊予銀行（37.4%増）。

□ 全国地域別（地方銀行、第二地方銀行の計 99 行が対象）、8 地域で預金・貸出金が増加

増加率は、預金・貸出金ともに「中国」がトップ。利ざやは、「北海道」以外の 8 地域で増加。

1. 預金残高、8 行中 7 行で増加、増加率トップは香川銀行

2023 年 9 月末の四国の主要 8 行の預金残高は 24 兆 5,977 億 1,600 万円となり、2022 年 9 月末比で 4,111 億 6,000 万円増加 (1.7%増) した。阿波銀行のみ微減となったが、その他 7 行が預金を伸ばし、預金残高の増加が続いている。なお、全国 (主要 106 行¹⁾) の増減率 (2.9%増) との比較では、1.2 ポイント下回った。

銀行別に預金残高の増減をみると、増加率のトップは香川銀行 (3.9%増) となった。次いで愛媛銀行 (2.5%増)、伊予銀行 (2.4%増)、徳島大正銀行 (2.3%増)、高知銀行 (1.5%増) と続いた。

また、8 行が 2023 年 9 月中間期 (半年間) に預金者へ支払った預金利息は 112 億 7,300 万円となり、2022 年 9 月中間期比で 65 億 4,000 万円増加 (138.2%増) した。高知銀行が減少したものの、その他 7 行が増加したことで、預金利息は前年同時期を大きく上回った。なお、全国 (主要 104 行) の増減率 (278.4%増) との比較では、140.2 ポイント下回った。

銀行別に預金利息の増減をみると、増加率のトップは愛媛銀行 (183.5%増) となった。次いで伊予銀行 (175.1%増)、四国銀行 (150.4%増)、百十四銀行 (135.9%増) が 2 倍以上の増加で続いた。

四国地区主要8行の預金残高

銀行名	預金残高 (単位: 百万円)		前年同期比 (%)
	2022年9月末	2023年9月末	
愛媛銀行	2,302,649	2,360,206	2.5
香川銀行	1,800,099	1,869,630	3.9
高知銀行	1,007,992	1,023,118	1.5
徳島大正銀行	2,207,302	2,258,004	2.3
阿波銀行	3,150,422	3,146,172	-0.1
伊予銀行	6,099,850	6,245,746	2.4
四国銀行	3,005,384	3,038,005	1.1
百十四銀行	4,612,858	4,656,835	1.0
合計 (四国主要8行)	24,186,556	24,597,716	1.7
全国 (主要106行)	923,497,781	950,381,980	2.9

四国地区主要8行の預金利息

銀行名	預金利息 (単位: 百万円)		前年同期比 (%)
	2022年9月中間期	2023年9月中間期	
愛媛銀行	671	1,902	183.5
香川銀行	212	255	20.3
高知銀行	80	78	-2.5
徳島大正銀行	274	353	28.8
阿波銀行	350	458	30.9
伊予銀行	2,002	5,508	175.1
四国銀行	137	343	150.4
百十四銀行	1,007	2,376	135.9
合計 (四国主要8行)	4,733	11,273	138.2
全国 (主要104行)	627,913	2,376,070	278.4

※全国の預金利息は、青森銀行とみちのく銀行が非開示のため、104行分で計算

¹ 大手銀行 7 行 (三菱 UFJ、みずほ、三井住友、りそな、埼玉りそな、SBI 新生、あおぞら)、地方銀行 62 行、第二地方銀行 37 行

2. 貸出金残高、8 行すべてで増加、増加率トップは香川銀行

2023 年 9 月末の四国の主要 8 行の貸出金残高は 19 兆 3,787 億 2,700 万円となり、2022 年 9 月末比で 7,352 億 6,900 万円増加 (3.9%増) した。8 行すべてが貸出金を伸ばし、貸出金残高の増加が続いている。なお、全国 (主要 106 行) の増減率 (3.1%増) との比較では、0.8 ポイント上回った。

銀行別に貸出金残高の増減をみると、増加率のトップは香川銀行 (6.4%増) となった。次いで伊予銀行 (5.4%増)、四国銀行 (5.1%増)、徳島大正銀行 (4.3%増) と続いた。

また、8 行が 2023 年 9 月中間期 (半年間) に融資先から受け取った貸出金利息は 1,297 億 5,000 万円となり、2022 年 9 月中間期比で 253 億 2,500 万円増加 (24.3%増) した。なお、全国 (主要 104 行) の増減率 (61.3%増) との比較では、37.0 ポイント下回った。

銀行別に貸出金利息の増減をみると、増加率のトップは伊予銀行 (46.9%増) となった。次いで百十四銀行 (26.2%増)、愛媛銀行 (23.3%増)、四国銀行 (16.6%増) と続き、高知銀行を除く 7 行が増加した。

四国地区主要8行の貸出金残高

銀行名	貸出金残高 (単位: 百万円)		前年同期比 (%)
	2022年9月末	2023年9月末	
愛媛銀行	1,893,205	1,933,149	2.1
香川銀行	1,449,012	1,542,259	6.4
高知銀行	741,767	749,230	1.0
徳島大正銀行	1,870,537	1,950,190	4.3
阿波銀行	2,128,937	2,199,709	3.3
伊予銀行	5,257,408	5,541,538	5.4
四国銀行	1,938,598	2,036,816	5.1
百十四銀行	3,363,994	3,425,836	1.8
合計 (四国主要8行)	18,643,458	19,378,727	3.9
全国 (主要106行)	622,803,655	641,823,684	3.1

四国地区主要8行の貸出金利息

銀行名	貸出金利息 (単位: 百万円)		前年同期比 (%)
	2022年9月中間期	2023年9月中間期	
愛媛銀行	12,666	15,612	23.3
香川銀行	8,807	9,904	12.5
高知銀行	4,769	4,768	0.0
徳島大正銀行	11,969	13,321	11.3
阿波銀行	12,152	12,822	5.5
伊予銀行	29,194	42,880	46.9
四国銀行	9,908	11,557	16.6
百十四銀行	14,960	18,886	26.2
合計 (四国主要8行)	104,425	129,750	24.3
全国 (主要104行)	3,674,113	5,926,308	61.3

※全国の貸出金利息は、青森銀行とみちのく銀行が非開示のため、104行分で計算

3. 利ざや動向、8 行すべてで増加、増加率トップは伊予銀行

2023 年 9 月中間期（半年間）の四国主要 8 行の収支「貸出金利息（収入）－預金利息（支出）の差額＝本業利ざや」は 1,184 億 7,700 万円となり、2022 年 9 月中間期比で 187 億 8,500 万円増加（18.8%増）した。なお、全国（主要 104 行）の増減率（16.5%増）との比較では 2.3 ポイント上回った。

銀行別に利ざやの増減をみると、増加率のトップは伊予銀行（37.4%増）となった。次いで百十四銀行（18.3%増）、四国銀行（14.8%増）、愛媛銀行（14.3%増）と続き、8 行すべてで増加した。

四国地区主要8行の利ざや（貸出金利息－預金利息）

銀行名	利ざや（単位：百万円）		前年同期比 （%）
	2022年9月中間期	2023年9月中間期	
愛媛銀行	11,995	13,710	14.3
香川銀行	8,595	9,649	12.3
高知銀行	4,689	4,690	0.0
徳島大正銀行	11,695	12,968	10.9
阿波銀行	11,802	12,364	4.8
伊予銀行	27,192	37,372	37.4
四国銀行	9,771	11,214	14.8
百十四銀行	13,953	16,510	18.3
合計（四国主要8行）	99,692	118,477	18.8
全国（主要104行）	3,046,200	3,550,238	16.5

※全国の利ざやは、青森銀行とみちのく銀行が預金利息・貸出金利息を非開示のため、104行分で計算

4. 全国地域別、預金・貸出金残高の増加率トップは「中国」

全国の地方銀行、第二地方銀行の計 99 行について、本店所在地（都道府県別）の地域別（9 地域）にみると、2023 年 9 月末の預金残高は 9 地域すべてで増加した。貸出金残高は、8 地域が増加し、「北海道」のみ減少した。

預金残高の増加率が最も高かったのは「中国」（3.4%増）で、次いで「九州」（2.3%増）、「関東」（2.2%増）と続き、「四国」（1.7%増）は 9 地域中 6 番目であった。貸出金残高の増加率が最も高かったのは「中国」（4.9%増）で、次いで「九州」（4.5%増）、「関東」（4.3%増）、「四国」（3.9%増）と続いた。

また、2023 年 9 月中間期の預金利息は 9 地域すべてで増加した。預金利息の増加率が最も大きかったのは「関東」（186.6%増）で、次いで「中部」（171.2%増）、「四国」（138.2%増）が続いた。貸出金利息は、2022 年 9 月中間期に比べ、8 地域が増加し、「北海道」のみ減少した。貸出金利息の増加率が最も大きかったのは「中国」（28.8%増）で、次いで「四国」（24.3%増）、「関東」（12.9%増）、「中部」（11.7%増）が続いた。

利ざやは、8 地域が増加し、「北海道」のみ減少した。利ざやの増加率が最も大きかったのは、「中国」（25.1%増）で、次いで「四国」（18.8%増）、「関東」（8.0%増）と続いた。

		2022年9月末	2023年9月末	2022年9月末比 増減額・増減比(%)	
北海道 (2行)	預金	16,071,269	16,253,681	182,412	1.1
	預金利息	135	138	3	2.2
	貸出金	12,179,730	11,875,087	▲ 304,643	▲ 2.5
	貸出金利息	49,488	49,477	▲ 11	▲ 0.02
	貸出金利息-預金利息	49,353	49,339	▲ 14	▲ 0.03
東北※ (15行)	預金	37,097,608	37,569,612	472,004	1.3
	預金利息	1,573	2,295	722	45.9
	貸出金	25,107,219	25,893,718	786,499	3.1
	貸出金利息	97,563	102,435	4,872	5.0
	貸出金利息-預金利息	95,990	100,140	4,150	4.3
関東 (15行)	預金	86,567,932	88,458,445	1,890,513	2.2
	預金利息	9,058	25,960	16,902	186.6
	貸出金	67,443,460	70,373,891	2,930,431	4.3
	貸出金利息	330,400	373,116	42,716	12.9
	貸出金利息-預金利息	321,342	347,156	25,814	8.0
北陸 (8行)	預金	28,918,810	29,482,095	563,285	1.9
	預金利息	1,005	1,667	662	65.9
	貸出金	19,039,254	19,528,903	489,649	2.6
	貸出金利息	83,354	87,452	4,098	4.9
	貸出金利息-預金利息	82,349	85,785	3,436	4.2
中部 (15行)	預金	66,525,154	67,384,184	859,030	1.3
	預金利息	9,147	24,805	15,658	171.2
	貸出金	51,158,621	53,016,109	1,857,488	3.6
	貸出金利息	251,090	280,393	29,303	11.7
	貸出金利息-預金利息	241,943	255,588	13,645	5.6

※東北の預金利息、貸出金利息は青森銀行、みちのく銀行が非開示のため13行分で計算

		2022年9月末	2023年9月末	2022年9月末比 増減額・増減比(%)	
近畿 (7行)	預金	36,473,370	37,143,753	670,383	1.8
	預金利息	3,367	7,864	4,497	133.6
	貸出金	29,062,959	30,028,277	965,318	3.3
	貸出金利息	130,012	135,764	5,752	4.4
	貸出金利息-預金利息	126,645	127,900	1,255	1.0
中国 (9行)	預金	34,631,567	35,803,793	1,172,226	3.4
	預金利息	4,823	10,879	6,056	125.6
	貸出金	27,461,930	28,809,023	1,347,093	4.9
	貸出金利息	134,022	172,555	38,533	28.8
	貸出金利息-預金利息	129,199	161,676	32,477	25.1
四国 (8行)	預金	24,186,556	24,597,716	411,160	1.7
	預金利息	4,733	11,273	6,540	138.2
	貸出金	18,643,458	19,378,727	735,269	3.9
	貸出金利息	104,425	129,750	25,325	24.3
	貸出金利息-預金利息	99,692	118,477	18,785	18.8
九州 (20行)	預金	59,550,455	60,945,056	1,394,601	2.3
	預金利息	3,369	6,187	2,818	83.6
	貸出金	48,811,449	50,996,973	2,185,524	4.5
	貸出金利息	245,849	262,008	16,159	6.6
	貸出金利息-預金利息	242,480	255,821	13,341	5.5
99行 合計	預金	390,022,721	397,638,335	7,615,614	2.0
	預金利息	37,210	91,068	53,858	144.7
	貸出金	298,908,080	309,900,708	10,992,628	3.7
	貸出金利息	1,426,203	1,592,950	166,747	11.7
	貸出金利息-預金利息	1,388,993	1,501,882	112,889	8.1

単位: 百万円

5. まとめ

今回の調査で、四国地区の主要 8 行における 2023 年 9 月末の貸出金残高は、19 兆 3,787 億 2,700 万円となり、2022 年 9 月末と比べて 7,352 億 6,900 万円増加 (3.9%増) した。増加の背景には、M&A や事業承継などのファイナンスが増えたことや、物価高に伴う資金対応やアフターコロナの過程で企業の設備投資にかかる資金需要が旺盛になったことなどがあげられる。また、2023 年 9 月末の預金残高は 24 兆 5,977 億 1,600 万円となり、2022 年 9 月末と比べて 4,111 億 6,000 万円増加 (1.7%増) した。これは、外貨預金の増加や、金融機関同士の競合に伴い預金を獲得するために金利の上昇を行ったことなどが、預金残高の増加要因となった。

銀行業界は、これまでの預貸中心のビジネスモデルから新たなビジネスモデルの構築など収益源の多角化を急いでいる。倒産件数が増加傾向にあるなか、金融庁が発表している「中小・地域金融機関向けの総合的な監督指針」等の一部改正案の概要にもあるように、今後銀行をはじめとする金融機関は、コロナ禍の“資金繰り支援フェーズ”から事業者の実情に応じた“経営改善・事業再生支援フェーズ”への転換が求められることになる。

加えて、日銀は2023年12月19日の金融政策決定会合の場で、大規模な金融緩和策の現状維持を決めた。マイナス金利の出口戦略については、金融機関関係者を中心に依然関心度は高い。転換期を迎える2024年3月期の銀行業界の通期の動向に引き続き注目が集まる。

【 内容に関する問い合わせ先 】

株式会社帝国データバンク 高松支店 担当：須賀原 欣彦、道田 祐一
TEL : 087-851-1571 FAX : 087-851-3837

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。報道目的以外の利用につきましては、著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。